

編集後記

旧暦10月は、全国の神々が縁結び相談のために集まる出雲では神在月、他では神無月と呼ばれる、という説は、中世から神社の宣伝・参詣の世話を職業とした御師(おんし、おし)が、神無月という宛字表記に乗じて広めた俗説らしい。旅行者者たる御師の作り出したイメージが一人歩きするのは、現在と同じで興味深い。

今号のインタビューでは、加藤九祚名誉教授からお話を伺った。縁結びに引き寄せれば、加藤先生のお人柄こそが、人と人、人と物を結びつけてきた原動力に相違ない。社会の分断が進む今、こうした横方向の結びつきは尊い。同時に、人生の節目節目を新たな展開につなげていく先生の前向きな生き方は、退職者や退職を控える人びとへのエールとなるだろう。現に、地元武蔵野市などでの講演を通じて加藤先生に魅せられ、若年や壮年だけでなく熟年ファンの輪が広がり、中には毎年、先生と一緒にカラテバを訪れるリタイアの方々もおられると聞く。「リタイア組の星」でもある加藤先生、定年の近い私も見習いたいと思う。(久保正敏)

次号の予告

特集 ヨーロッパのパン

月刊みんぱく

2009年10月号

第33巻第10号通巻第385号 2009年10月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
電話 06-6876-2151

発行人 西尾哲夫

編集委員 久保正敏(編集長) 佐々木史郎 庄司博史
中牧弘允 信田敏宏 山中由里子

協力 財団法人 千里文化財団

制作 京都通信社

印刷 市蔵図書

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館企画連携係にお願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

みんぱくウィークエンド・サロン 研究者と話そう

●時間 14時30分から15時30分(予定)

★10月11日(日)は、11時から12時(予定)

●特別展示場および常設展示場観覧料が必要です。

*都合により、予定を変更することもあります。

国立民族学博物館(みんぱく)の研究者が、来館された皆様の前に登場します!

「研究について」「調査している地域(国)の最新情報」「展示資料について」などなど、話題や内容は千差万別!

どんどん質問もおよせください。展示場でお待ちしています。

10月4日(日) 10月の開催

話者: 南真木人 (研究戦略センター准教授)

話題: チトワン国立公園と住民の生活権

場所: 常設展示場入口

10月11日(日)

★この日のみ11時から12時(予定)

話者: 關雄二

(研究戦略センター教授)

話題: 黄金の墓の発見と発掘秘話

場所: 常設展示場内

10月25日(日)

話者: 印東道子 (民族社会研究部教授)

話題: オセアニアの人びとの資源利用

場所: オセアニア展示



国立公園緩街地帯のナラヤニ川中州でカヤを刈りとり、渡し舟で村にもどる女性たち

1年間みんぱくに何度でも入館できる

「みんぱくフリーパス(3,000円)」をご利用ください。

常設展は何度でも無料で入館できます。

他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいあります。

特典◆常設展の無料入館

◆特別展の観覧料割引

◆みんぱくミュージアム・ショップとレストランの10%割引

◆万博記念公園内および周辺施設での利用割引 など。

詳細については、財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893 / 平日9:00~17:00)



交通案内

●大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分

●阪急茨木市駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分(茨木方面からは、もっとも近い「自然文化園・日本庭園中央」バス停で下車できるバスが1時間に1本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください)。

●自家用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。

●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れられます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

